



～平成19年度～

近畿中国森林管理局における

国有林野の管理経営の取組状況について

平成20年10月

近畿中国森林管理局

## <目 次>

1	はじめに	1
2	「国民の森林」国有林	1
3	人と森との共生 2 1 (Ⅱ)	2
○	自然環境及び生活環境を重視した国有林野の管理経営	
	・ 清らかな水の確保 2 1	3
	・ 里の暮らしを守る 2 1	4
	・ 美しい里山づくり 2 1	5
	・ 自然豊かな森林生態系の保全 2 1	7
○	国民参加の森づくり、人づくり	
	・ 森とのふれあい 2 1	9
	・ 緑と森の人づくり 2 1	11
○	循環型経済社会システム及び山村振興への貢献	
	・ 木の文化再生 2 1	13
	・ 活力ある森づくり 2 1	15
	・ 地球温暖化防止 2 1	17
○	情報受発信の強化	
	・ 森林情報空間 2 1	18
4	資料	19

# 1 「国民の森林」 国有林

## はじめに

国有林は、国土の約2割、森林面積の約3割を占め、その多くは奥地山岳や水源地域にあり、原始的な天然林も多く残されています。

このため、国有林に対しては国土保全、水源のかん養、自然環境保全、保健休養の場の提供といった公益的機能の発揮が強く求められています。近年では、これらに加え、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林とのふれあいや環境教育への貢献など、国民の期待や要望はさらに多様化しています。

国有林野事業では、公益的機能の維持増進を図る方針のもと、要望に適切に対応するため、それぞれの国有林を重点的に発揮させるべき機能によって

- ・ 水土保全林
- ・ 森林と人との共生林
- ・ 資源の循環利用林

の3区分とし、流域ごとに森林計画を立てて適切かつ効率的な管理経営を行っています。

また、平成19年2月から適切な森林の整備・保全などの取り組みを幅広い国民の理解と協力のもとで推進する「美しい森林づくり推進国民運動」を展開しており、近畿中国森林管理局においても率先して取り組んでいます。



### 資源の循環利用林

6% (2万 ha)

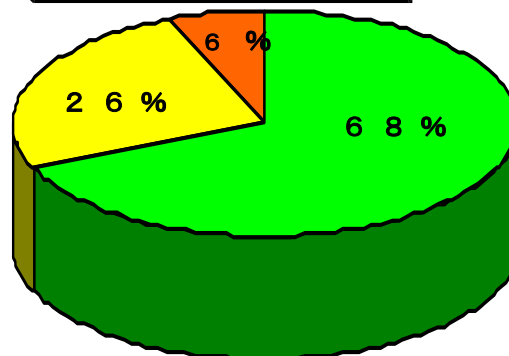
公益的機能の発揮に配慮しながら、木材を持続的に生産するための森林づくり



### 森林と人との共生林

26% (8万 ha)

貴重な自然環境の保全や余暇活動など、自然とのふれあいを目指した森林づくり



### 水土保全林

68% (21万 ha)

国土の保全や水資源の確保など、安全で住みやすい環境を守るための森林づくり



近畿中国森林管理局の3機能区分の割合（面積）

## 近畿中国森林管理局が管理する国有林の特徴

近畿中国森林管理局は、東は石川県から西は山口県までの2府12県の国有林を管理しており、国有林31万ha、官行造林3.1万haの管理経営を行っています。

管内の国有林は他の森林管理局の国有林と比較して次のような特徴があります。

### 社会的条件から見た特徴

- ・里山が多い
- ・レクリエーションの対象が多い
- ・開発、保全双方の要望が強い

### 自然条件から見た特徴

- ・小面積で分散している
- ・公益的機能の面で重要な森林が多い
- ・人工林の割合が高い

## 2 人と森との共生21(II)

### 「人と森との共生21(II)」とは

近畿中国森林管理局では、「国有林野の管理経営に関する基本計画」に基づき、「国民の森林」を実現し、森林に対する期待・要望に応えるためにさまざまな取り組みを行っています。

このため、管内の自然・地理、社会・経済的な特徴を踏まえ、中長期的ビジョン「人と森との共生21(II)」を策定し、国有林の適切な管理経営の具体的な方向性を打ち出しています。

### ビジョンの目指す基本的方向

- 国民の多様な要請に応じた  
森林整備の推進
- 国民参加の森づくり、人づくり
- 循環型経済社会及び  
地域振興への貢献
- 情報受発信の強化

### 10の重点課題

- 1 清らかな水の確保21
- 2 里のくらしを守る21
- 3 美しい里山づくり21
- 4 自然豊かな生態系の保全21
- 5 森とのふれあい21
- 6 緑と森の人づくり21
- 7 木の文化再生21
- 8 活力ある森づくり21
- 9 地球温暖化防止21
- 10 森林情報空間21

# 1 清らかな水の確保21

## ～水源林の整備など、水源かん養機能をも高めるための取り組み～

森林は、水源としてその重要な役割を果たしており、水源のかん養機能（量の安定確保）と水質保全機能（質の安定確保）を発揮・維持するためには、多種多様な森林の整備や治山事業に取り組んでいくことが重要です。

近畿中国森林管理局では、これまでのスギやヒノキなど単一の樹種を一斉に植林する方法を見直し、水源林としてより効果の高い森林の造成に努めています。

具体的には広葉樹・郷土樹種の導入やささまざまな樹齢の木を育てる針広混交林化・複層林化を進めており、また、その多くは水源かん養保安林など公益性の高い森林として管理経営しています。

### ○地域と連携した森林の復旧

兵庫県の北部、香美町香住地区の山腹崩壊地は、現地は急傾斜で雪も多く、自然に生える植物によって森林に戻すことが難しい箇所でした。一日も早い復旧と災害の未然防止のため、3ヶ年で復旧する計画としています。また、周辺の森林整備も併せて行うことでより災害に強く、土砂の流出の少ない森林を目指しています。

また、地域住民には事業内容の事前説明を行い、ご理解をいただいた上で事業を行っています。



(災害発生の様子)



(19年度完成の工事)



(下流の国交省砂防ダムの様子)

【兵庫森林管理署】

### ○滑（なめら）山ふれあいの森づくり

山口森林管理事務所では、森林ボランティア団体「山口森林倶楽部」（会員31名）と5年間の森林造成に関する協定（ふれあいの森）を結んでいます。現地はケヤキなどの広葉樹が植えられており、平成19年度は下草刈りや作業用歩道の整備の他、森林散策も行いました。



(山口市 滑山国有林)



(下草刈りの様子)

【山口森林管理事務所】

## 2 里のくらしを守る21

### ～国土の保全、生活環境の保全への取り組み～

管内の国有林は、都市近郊をはじめ、居住地域に近い「里山」と言われる森林が数多くあり、山地崩壊や林野火災など、災害が直接地元に被害を与える可能性が高いことから、山地災害の防止や復旧を行うとともに、国土保全や防災意識向上の普及啓発などを進めています。

#### 管内国有林における山地災害等の発生状況

(単位：百万円)

	林地荒廃		治山施設		林道		森林被害		計
	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	被害額
18年度	13	453	1	18	14	128	—	—	599
19年度	1	83	0	0	0	0	—	—	83

#### ○嵐山復活大作戦

京都の代表的な景勝地「嵐山」は、近年、サルやシカによる獣害、松くい虫による被害により松が枯れ、かつての風景が失われつつあります。

そこで、地元の嵐山保勝会と合同でサクラ、カエデ、アカマツなどの植樹を行ったほか、シカの侵入を防ぐ防護柵を設置しました。



今後も地域参加型のイベントとして継続的に植樹を行い、かつての嵐山の姿を取り戻すよう、努めて行きます。

【京都大阪森林管理事務所】

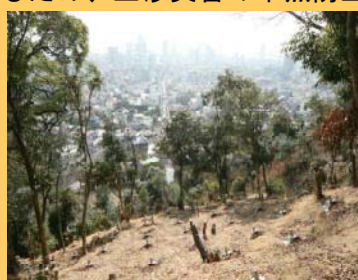
#### ○都市近郊林における治山事業

近畿中国森林管理局の管内は、居住地域に隣接する国有林が多く、この中には急傾斜地も多くあります。

地域住民の安全なくらしを確保するため、土砂災害の未然防止と、保安林機能の維持を目的とした治山工事や森林整備を行っています。



木柵の設置と間伐の実施箇所（たつの市）



地山の補強工事と緑化実施箇所（神戸市）

【兵庫森林管理署】

# 3 美しい里山づくり21

## ～里山保全への取り組み～

里山は、地域住民が森林とのふれあいや都市と農山村との交流を通じて、公益的機能の発揮などの森林の役割や森林の手入れの重要性を実感する場として重要であり、その保全に向けたさまざまな取り組みを行っています。

### ○グループ対抗里山デジカメ選手権

「身近な森林の再発見」をテーマに、3人1組のグループによる作品を募集したところ、全国から57組の応募があり、写真家の今森光彦氏、フリーアナウンサーの青山佳世氏らによる公開審査により最優秀賞1点、優秀賞8点が選ばれました。

最優秀賞「小さな命」（広島県立庄原格致高校のグループ）



また、京都市や大阪市において作品展を開催し、PRに努めました。

【箕面森林環境保全ふれあいセンター】

### ○国有林クリーン作戦！

観光客などによるゴミのポイ捨てや道路沿いの国有林での不法投棄が多いため、地域の協力を得て、定期的に清掃活動を行っています。

【広島森林管理署】（呉市）



【滋賀森林管理署】（大津市）



【京都大阪森林管理事務所】（京都市）



### ○地域と連携した海岸林の整備

石川県小松市から加賀市にかけて広がる加賀海岸林では近年、松くい虫の被害が広がっており、潮風や砂地という厳しい環境のために自然回復が困難なため、加賀市、小松市立安宅小学校、加賀市立黒崎小学校、漁業関係者、森林管理署が連携して植樹祭や体験林業を行い整備するとともに、自然休養林保護管理協議会員による巡視・保護活動を行っています。



（安宅林国有林での植樹体験活動の様子）

【石川森林管理署】

## ○美しく、親しまれる近江の森林を目指して

滋賀県近江八幡市の奥島山国有林において、地元の近江八幡市、奥島山緑と水の森林基金の森づくり協議会と連携して、滋賀県、緑の少年団や下流の府県に所在するボランティア団体など約50名が参加した植樹活動を行いました。

また三上山国有林（近江富士）では約150名が参加した清掃登山が行われるなど、地域の重要な活動となっています。



(右 奥島山の植樹活動)

(左 三上山の清掃登山)

【滋賀森林管理署】

## ○ヤシャゲンゴロウの保護管理

福井県と岐阜県の県境に広がる夜叉ヶ池にのみ生息する「ヤシャゲンゴロウ」は環境省の「国内希少野生動植物種」に指定されており、平成17年12月に環境省とともに策定した保護増殖計画に基づいた保護事業を行っています。

平成19年度は個体数の継続調査や一般公募のボランティアを含む巡視員のパトロールによるハイカーのマナー向上対策、積雪によって破損した木道の修理を行いました。



(左：個体数調査の様子)



(右：夜叉ヶ池)



【福井森林管理署】

## ○里山の再生プロジェクト

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、平成16年に大阪府箕面市の箕面国有林に里山モデル林を設定し、学識経験者や地域住民、ボランティア団体等による委員会を設けて、整備内容の検討・決定、具体的な整備、検証等を行い、平成19年3月に里山再生ガイドラインの作成等に取り組んできました。

平成19年度からは、これを踏まえ、里山モデル林を含む地域において、「箕面体験学習の森」整備事業を展開し、積極的な広葉樹の育成や伐採等による木材利用及び菊炭づくり体験等、森林環境教育のフィールドとして活用しつつ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上に取り組んでいます。

平成19年度は、データ収集及び現地調査の実施、整備方針の検討・作成のため有識者、関係行政機関、教育関係者、地域住民、ボランティア団体を構成員とする委員会及び専門部会を開催しました。



(里山再生ガイドライン)

【箕面森林環境保全ふれあいセンター】



## 4 自然豊かな生態系の保全21

### ～野生動植物等の保護管理への取り組み～

地域住民、ボランティア団体、NPO等とも連携を図りながら、生物多様性保全の視点も踏まえた希少種の保護や、シカなどの野生動物による被害対策に取り組んでいます。

#### ○大塔山の山頂付近の保護対策

紀伊山地南部に位置する大塔山には、本州南限のブナ林がありますが、獣害などの被害を受けているため、和歌山県、関係市町村、自然保護団体などと連携した保護・回復の検討を始めました。

平成19年度は現地の実態調査や有識者を交えての検討会を行いました。

(被害の様子)



(現地調査)



(検討会)



【和歌山森林管理署】

#### ○緑の回廊における施業モデルの提案

兵庫、鳥取の両森林管理署では、平成18年度に設定した「東中国山地緑の回廊」の目指す広域的な森林生態系の保護・保全のために必要な森林づくりのあり方を民有林や地元と連携して取り組んでいます。

平成19年度は民有林との連絡調整会議（岡山県西粟倉村）、シンポジウム「東中国山地緑の回廊の森林づくり」（鳥取県若桜町）の開催、自然観察会や地元の方によるパトロールを行ったほか、スギ植林地に森林施業実証試験地を9箇所設定しました。

今後も野生鳥獣との共生を目指した森林づくりの拠点として、また、情報発信の場となるよう努めていきます。

(現地観察会)



(地元の方によるパトロール)

【兵庫森林管理署、鳥取森林管理署】

## ○「伊崎国有林 カワウと人との共生プロジェクト」

漁業被害などに深刻な被害を与えているカワウは、営巣場所としてヒノキなどの針葉樹を好むため、枝折りやフンによる枯死が発生するなど、森林に対する被害も顕著になっています。

特に、琵琶湖岸に位置する滋賀県近江八幡市の伊崎国有林は、竹生島と並ぶカワウの一大営巣地となっており、近畿中国森林管理局では、平成19年4月に「伊崎国有林の森林管理におけるカワウ対策方針」を策定し、枯れた木の伐採とカワウがあまり好まない広葉樹の植栽による森林の回復を森林ボランティアの協力を得て行い、カワウの営巣地の縮小に効果をあげています。

(ボランティアによる下刈)



(左：被害木の伐採)

(右：東近江地区緑の少年団  
による記念植樹)

【滋賀森林管理署】

## ○大台ヶ原の保護対策

三重県大台町の大杉谷国有林は本州最南端のトウヒ林など貴重な森林が多く残っており、平成3年に森林生態系保護地域に指定されています。

かつては鬱蒼とした森でしたが、昭和34年の伊勢湾台風の被害で木々は倒れ、林内に陽が入り、林床がミヤコザサに覆われたため、ササを餌とするシカが増加しました。

また、近年の暖冬により標高の高いところでもシカが越冬できようになったことから、樹皮を角で傷つけたり、食べる被害が拡大しました。

そこで多くのボランティアの協力を得て、樹皮を守るため幹に保護用のネットを張るイベントを開催し、平成19年度は2回実施しました。



(シカ被害防止のため、幹にネットを巻き付ける様子)

大台ヶ原の木々と人の共生を実現して

ボランティア募集



【三重森林管理署】

## 5 森とのふれあい21

### ～開かれた国有林をめざして～

国民と森林とのふれあいを目的とした「森林と人との共生林」のなお一層の機能の充実が求められる中、「国民参加」を意識した森林整備や森林管理を促進・強化するとともに、これらのフィールドを有効活用した事業に取り組んでいます。

#### ○「水都おおさか森林の市2007」の開催

これまで20回にわたり開催してきた「森林の市」を平成19年度より、「大川端に森林が出現、体験しようよ森林の恵み！」をテーマに地域、淀川流域が一体となって取り組むように内容をリニューアルしました。

会場を「お祭りのもり」、「学びのもり」、「遊びのもり」、「もりの小道」の4つのゾーンに分け、それぞれのテーマに沿った様々なイベントや展示が行われ、2日間で約2万人の来場がありました。



(木工体験)

(天満音楽祭)

(森と木の絵画コンクール表彰式)

【近畿中国森林管理局】

#### ○木にさわり、森を知ろう

木や森にふれあい、体験を通じて親しみをもちたい、という要望は強く、各森林管理署では森林教室や木工体験、森林散策ツアーなどを行っています。

また、地域が主催するイベントに積極的に参加して交流を深めています。



(森林散策)

(森林教室)

(デジカメ森林探検隊)

(クリスマスリースづくり)

【兵庫森林管理署】

(丸太切り体験)

(イベントへの参加)

【和歌山森林管理署】

## ○森と木の絵画コンクール

森や緑、自然などをテーマにした絵画に取り組むことで、森林に対する理解と親しみを深めてもらおうと、大阪市内の小学生を対象に毎年行っており、平成19年度は参加39校、1,222点の応募があり、審査（委員長 山田倫子氏・洋画家）の結果、74点の入選、佳作が選ばれました。

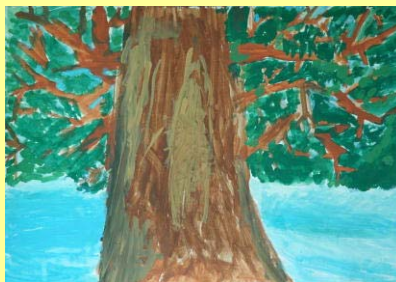
また、これらの作品は「森林の市」に併せて展示会を行いました。

### 〈各学年の金賞受賞作品〉

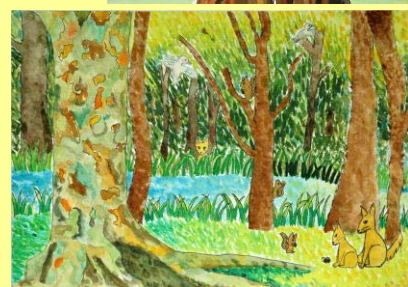
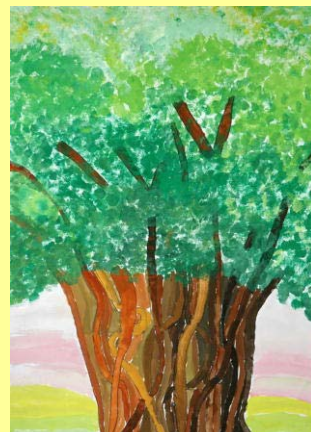
1年生の部「こんちゅうのもり」



2年生の部「大きな木」



3年生の部「ふしぎガジュマル」



4年生の部「森の生きもの」

5年生の部「森と木」

6年生の部「森林」

【森林管理局 指導普及課】

## ○遊々の森での活動

「遊々の森」は、各学校で取り組まれている「総合的な学習の時間」などで森林を自然体験や学習の場として活用していただくためにフィールド提供しているものです。

森林の中で何を創り、何を学ぶかは各学校にまかされており、森林管理署の職員も指導に当たっています。

平成19年度は管内で延べ988人の子供たちが林業体験や巣箱掛けなどを通じて森林に親しみました。



(植樹活動)

【福井森林管理署】



(間伐体験)

【鳥取森林管理署】



(森林教室)

【広島北部森林管理署】

## 6 緑と森の人づくり21

### ～緑の応援団・森林を担う人づくりへの取り組み～

一般市民や次代を担う子どもたちの森林に対する意識を高めるため、NPOなどが行う森林ボランティア活動や学校教育の一環として実施される森林環境教育に関するフィールドの提供や技術指導などの取り組みを行っています。

#### ○森林環境教育プログラム（大人向け）の作成

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、平成17年度から「森林環境教育プログラム検討委員会」（委員長：谷口文章 甲南大学教授）を設置して実用的なプログラムの作成に取り組み、18年度に子ども向けのプログラムを作成しました。

平成19年度は先生の卵である大学生に実践・検証してもらい、森林生態系のみならず、地域の文化や歴史まで踏み込んだ大人向けプログラムを作成しました。



（DVDと冊子）



（地元の方へのインタビューや実践、討議の様子）



【箕面森林環境保全ふれあいセンター】

#### ○トライやる・ウィーク インターンシップ

兵庫森林管理署では、職場体験や将来の担い手となる若い世代へのPRのために研修生の受け入れを毎年行っています。

平成19年度は宍粟市立山崎西中学校2年生3名による間伐体験や木材市場見学、加古川南高校1年生5名による間伐や不明となった国有林の境界標識の探索、山崎高校1,2年生77名による治山工事現場見学や植付け（植林）体験、県立山の学校生徒10名による植付け実習など幅広い活動を体験していただきました。



（測量機器を使った標識探索）



（人力による間伐実習の様子）



（植付け実習の様子）

【兵庫森林管理署】

## ○ボランティア養成スクール開講

森林管理局では、平成12年から「森林ボランティア養成スクール」を開講し、これまでに延べ150名余りのボランティアリーダーを養成しています。

平成19年度は18名の参加があり、森林・林業の現状やボランティア活動の現状についての講義と、救急法、作業体験、動植物観察、木工クラフトや里山見学などの実習を行いました。

今後は、これまでの活動を検証し、より良いプログラム作りを進めていきます。



(講義の様子)



(間伐木の枝払い)



(里山の現地見学)

【箕面森林環境保全ふれあいセンター】

## ○海外からの国有林視察

京都大阪森林管理事務所では、独立行政法人 国際協力機構（JICA）を始めとする各機関からの要請を受けて海外からの技術者を受け入れています。

平成19年度は中国やフィリピンなどから40名以上の方が訪れ、都市近郊林における景観対策、民有林における集約施業の先進例、地域と連携した森林整備の実例などを紹介し、交流を深めることができました。



【京都大阪森林管理事務所】

## ○森林・林業交流研究発表会の開催

民有林と国有林が一体となった森林・林業への取り組みや職員の創意工夫や技術研鑽を目的として毎年開催しています。

平成19年度は高校、行政機関などからも参加があり、20課題が発表されました。



【森林管理局 指導普及課】

# 7 木の文化再生21

## ～伝統的な木の文化貢献への取り組み～

管内には、世界文化遺産をはじめとする歴史的建造物や長い歴史に裏打ちされた木にまつわる有形・無形の文化が多く残っており、これらの保存、修復に協力することが、地域振興にもつながるという観点で、様々な資材提供や森林整備を行っています。

### ○未来へ再チャレンジ

京都市内の東山国有林は世界文化遺産の背景林として、また日本庭園の借景として重要ですが、カシノナガキクイムシ被害などによる景観への影響が懸念されています。

このため、京都市、社寺、NPO、企業、学識経験者など幅広い関係者の協力により「京都伝統文化の森推進協議会」が発足し、京都大阪森林管理事務所は平成19年12月に協議会とレクリエーションの森の整備等に関する協定を締結しました。

さらに、協議会と支援協定を締結したサポーターの方とも連携することにより森林整備や景観対策などを地域と一体となって取り組んでいきます。



【京都大阪森林管理事務所】

### ○「古事の森」の整備

近年、神社仏閣などの歴史的建造物を修復するための木材が不足しています。

このため、国有林では、数百年先の供給を目指した取り組みとして地域やボランティアの協力を得て「古事（こじ）の森」を整備しています。

管内の古事の森 の名称	設定 年度	面積 (ha)	所在地
京都古事の森	H14	1.99	京都市左京区
春日奥山古事の森	H15	0.48	奈良市
高野山古事の森	H16	1.51	和歌山県高野町
斑鳩の里法隆寺古事の森	H17	1.16	奈良県斑鳩町



(獣害に遭わないよう、  
ネットを  
張る様子)

【奈良森林管理事務所】

## ○抵抗性マツを使った古都京都の再生

京都の景観を支えてきたアカマツですが、松くい虫の被害によってその数が著しく減少しています。

古都の原風景ともいえる松のある風景を取り戻すため、平成19年度は松くい虫の被害に抵抗性があるとされる「抵抗性マツ」の苗をボランティアで育てていただいている「里親」の方への技術指導、華道嵯峨御流などの主催による「ニッポンノケシキ（生け花展）」への協力、銀閣寺山におけるアカマツ天然更新のための現地検討会開催、「高島屋」社員有志のボランティアによる森林整備など、さまざまな活動を行いました。

（里親の方が種から育てたマツの苗木）（高島屋社員のボランティアによる森林整備の様子）



事始め（森林整備活動）の様子

【京都大阪森林管理事務所】

## ○熊野古道周辺の森林整備

世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に指定されている熊野古道「高野坂（和歌山県新宮市）」周辺は孟宗竹の侵入により景観が悪化しているため、和歌山森林管理署では「タケノコを掘って古道を整備」と題して一般の方に協力していただき、古道周辺の森林整備を進めています。

（熊野古道）



（イベントの様子）



【和歌山森林管理署】



また、三重県熊野市から紀宝町に続く「七里御浜」は全長約20kmの国有林で熊野古道伊勢路の一部です。「七里御浜松林を守る協議会」の主催により、GG（グリーングロー）作戦は14回目を数え、平成19年度は松くい虫に強い「抵抗性クロマツ」390本を植え、林の中や海岸のゴミを拾い集めました。



（イベントの様子）



【三重森林管理署】



# 8 活力ある森づくり21

## ～間伐推進への取り組み～

国土の保全、水源のかん養、地球温暖化防止など、森林のもつ公益的機能を維持・増進していくためには、活力ある健全な森林の造成・育成が重要です。

間伐は、公益的機能の発揮には欠かせない作業であり、管内にある多くの人工林にとって今、最も急がれる作業です。

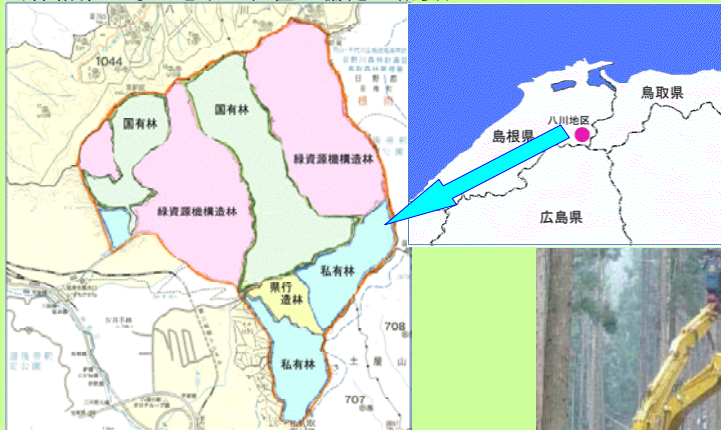
このため、高性能林業機械の活用とこれに必要な作業道の計画的な整備を行い、効率的な作業の仕組みを導入することで間伐を推進しています。

### ○民有林と国有林が連携した森林整備の推進

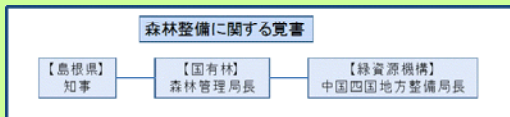
島根森林管理署では、小規模零細なため、整備コスト縮減が難しい民有林所有者と、その奥地を管理する国有林が共同施業団地を形成し、安定的かつ効率的な整備を目指して島根県、(独)緑資源機構、当局の3者による整備協定を締結し、平成19年度は八川地域(仁多郡奥出雲町)をはじめ、13箇所を設定し、平成22年度までに50箇所の設定を目標に推進して行きます。

管内各署においても、合同研修会の開催、候補地の選定や相手方との調整など、共同施業団地実現に向けた取り組みを行っています。

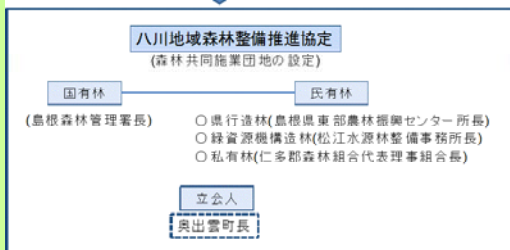
(締結第1号の地域の位置と協定の概要)



(八川国有林での作業の様子：伐採した木を丸太に切っているところ)



覚書に基づく地域森林整備推進協定の締結



## ○低コスト作業システム普及に向けた取り組み

和歌山森林管理署では、和歌山県、県森林組合連合会などと合同で有田川町及び広川町内の民有林において研修会を開催し、多くの事業者の参加をいただいています。

また、兵庫森林管理署では、九州の「儲かる林業研究会」と共同で現地研修会を開催するなど積極的に外部からの見学を受け入れ、先進事例の普及と技術研鑽に取り組むとともに、低コストモデル林を設定し、具体的なコスト調査にも取り組んでいます。

(ロングリーチグラップルの実演)



【和歌山森林管理署】



(写真左のスイングヤーダで木を引き寄せて写真右のグラップルで丸太にする組作業の様子)

(儲かる林業研究会)



【兵庫森林管理署】

## ○木材の安定的な供給に向けた取り組み

岡山県は全国で11地域が指定された「新生産システム」モデル地域の一つです。

岡山森林管理署は、間伐の推進とともに間伐した木材を計画的に供給することで、新たな生産・供給モデルの一翼を担っています。

(岡山県高次木材加工協同組合の共同工場)



高性能林業機械(グラップルから林内作業車への木材の積み込み)



(列状間伐の実施直後の様子)



(木材市場の様子)



(「せり」による販売)



【岡山森林管理署】

# 9 地球温暖化防止21

## ～木材利用推進への取り組み～

木材は、人に優しく再生産・利用が可能な自然素材であり、その利用を推進し、資源循環型社会の形成に貢献することが地球温暖化防止への効果的な取り組みにつながります。

このため、木材利用に積極的に取り組み、さまざまな機会を通じて普及啓発に努めています。

### ○公共工事の木材利用推進について

間伐材をはじめとする木材の有効利用や景観に配慮するため、公共工事などへの積極的な利用を図っています。(平成19年度実績は9,123m<sup>3</sup>)



(丸太組土留工)



(木製型枠治山えん堤)



(木柵工)

### ○新築庁舎を利用した木材利用のPR

岡山森林管理署(津山市)の新築工事においては、県産材を積極的に利用しました。落成に当たっては、一般公開を行い、木の持つ暖かみや優しさなど、木造建築の魅力と、木材利用が温暖化防止のために重要なことをPRしました。



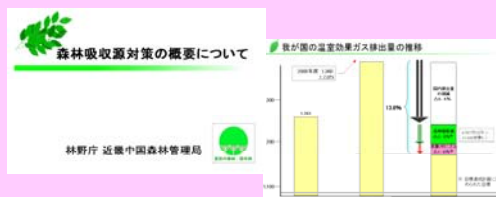
(左: 机も木です)

(右: 玄関ホール)



### ○温暖化による農林水産業への影響

9月28日に大阪市内において、近畿農政局、近畿地方環境事務所、大阪管区气象台など関係機関合同のフォーラムが開催され、一般市民、生産者、マスコミ関係者など240名が参加して討論が行われました。



【森林管理局 企画調整室】

# 10 森林情報空間21

## ～「国民の森林」を目指す取り組み～

近畿中国森林管理局では、民有林との連携強化をはじめとするさまざまな情報発信や、みなさんの声を受信するための取り組みを強化するよう努めています。

### ○森林のギャラリー

森林管理局1階は展示ギャラリーとして開放しており、森林や林業に関するさまざまな情報発信を行っています。



(大阪芸大生による  
作品展)



(木製オフィス製品  
展示会)



【森林管理局 指導普及課】

### ○森林・林業の普及に関するネットワークづくり

各方面から数多く寄せられる森林教室などの要望に応えるため、森林・林業に関する28団体によるネットワークを作っています。

平成19年度は森林環境教育プログラム(子ども向け)普及のため、体験型ワークショップを開催しました。



【森林管理局 指導普及課】

### ○国有林モニター

一般の方の意見を事業に反映するため、公募によるモニター制度を行っています。

平成19年度は71名の方に委嘱し、アンケートや会議の場で貴重な意見をいただいています。



左：モニター会議の様子

右：箕面国有林(大阪府箕面市)

における里山整備状況の説明

【森林管理局 企画調整室】

## 4 資料

### 1 国有林の現状

【平成19年4月1日現在】

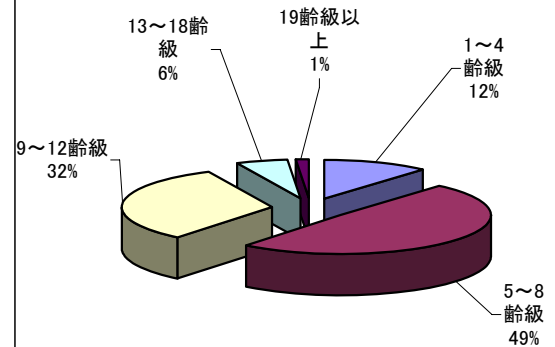
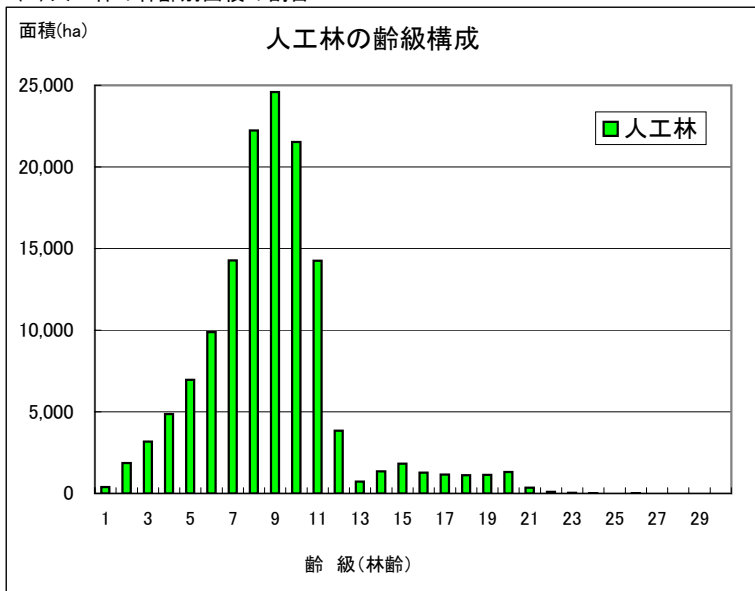
#### (1) 総括表

区分	総数	内訳		
		人工林	天然林	その他
面積(万ha)	31	14	15	2
蓄積(万m <sup>3</sup> )	4,227	2,587	1,639	1
成長量(万m <sup>3</sup> )	112	92	20	0

#### (2) 人工林の樹種別面積の内訳

区分	スギ	ヒノキ	その他	計
面積(万ha)	5.6	5.9	2.4	13.9

#### (3) 人工林の林齢別面積の割合



注) 年齢級とは、林齢を5年毎に区切ったもので、例えば林齢1～5年生を1年齢級と称します。

### 2 森林の機能類型区分

森林の機能類型区分			面積(万ha)	比率(%)
公益林	水土保全林	国土保全タイプ	7	68
		水源かん養タイプ	14	
	森林と人との共生林	自然維持タイプ	5	26
		森林空間利用タイプ	3	
資源の循環利用林			2	6
計			31	100

### 3 緑の回廊

区分	面積(ha)	備考
白山山系緑の回廊	42,899	緑の回廊 42,899ha 連結される保護林 17,604ha
越美山地緑の回廊	24,489	緑の回廊 24,489ha 連結される保護林 2,715ha
東中国山地緑の回廊	6,772	緑の回廊 6,772ha 連結される保護林 582ha

注) 中部森林管理局管内を含む。

【平成19年4月1日現在】

4 保護林

区 分	箇所数	面積(ha)	代 表 地
森林生態系保護地域	3	11,633	天杉谷(三重県)、白山(石川県)、大山(鳥取県)
森林生物遺伝資源保存林	2	2,309	黒蔵谷(和歌山県)、犀川源流(石川県)
林木遺伝資源保存林	21	756	音水(兵庫県)、西ノ河(和歌山県)
植物群落保護林	42	3,728	榎平山(広島県)、千丈平(石川県)
特定動物生息地保護林	4	227	夜叉ヶ池水生昆虫(福井県)、天王山(岡山県)
特定地理等保護林	1	30	岩見山(広島県)
計	73	18,683	

5 レクリエーションの森

区 分	箇所数	面積(ha)	代 表 地
自然休養林	9	6,043	箕面(大阪府)、笠戸岩国(山口県)
自然観察教育林	16	1,535	春日山(奈良県)、三ツ石山(島根県)
風景林	85	11,593	高野山(和歌山県)、宮島(広島県)、大山(鳥取県)
森林スポーツ林	3	300	札楽山(兵庫県)、扇ノ山(鳥取県)
野外スポーツ地域	11	1,720	豪円山(鳥取県)、奥伊吹(滋賀県)
風致探勝林	7	2,200	鹿久居島(岡山県)、三瓶山(島根県)
その他	10	15	太神山園地(滋賀県)、台山園地(兵庫県)
計	141	23,406	

6 法指定地域

区 分	面積(万ha)	管内国有林面積に占める割合(%)
保安林	27.6	89
自然公園	10.6	34
鳥獣保護区	7.5	24

注) 保安林については、2種類以上の保安林に指定されている森林がありますが、「面積」は重複を除いた実数で掲上しています。

9 林道総延長

区 分	路線数	総延長(km)
自動車道	801	2,129

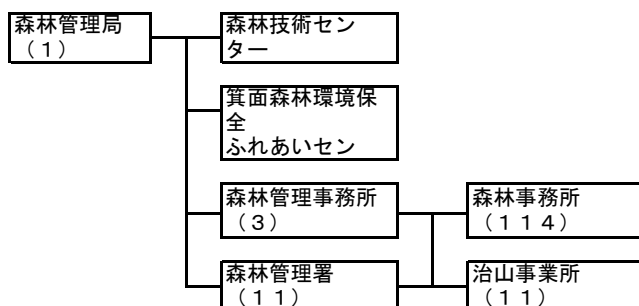
10 国有林の活用

区 分	面積(ha)
貸付使用	2,772
分取造林	3,045
分取育林	2,841
共用林野	1,234

7 各種事業

事業別	平成17年度	平成18年度	平成19年度
伐採量(万m <sup>3</sup> )	25.1	30.7	41.5
うち間伐による伐採量	21.1	27.3	37.2
植付面積(ha)	79	147	159
林道開設量(km)	8.9	8.0	1.7
治山事業量(億円)	40.5	43.2	45.7

8 組織



11 人員

区 分	H19.4.1	H20.4.1
定員内職員	461 人	469 人
定員外職員	23 人	17 人
合 計	484 人	486 人

この報告書は、平成19年度に近畿中国森林管理局で行いました取り組みをまとめたものです。ご意見・ご質問がございましたら、下記までお寄せください。

**【近畿中国森林管理局 企画調整室】**

電話 06-6881-3407

FAX 06-6881-3415

メールアドレス kinkichugoku@rinya.maff.go.jp

ホームページアドレス <http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku/>